



赤麻小だより

第41号

成25年 2月 4日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

大きな成果をあげ、学校評議員会が終了！！

信頼される開かれた学校づくりをめざし、学校関係者評価を実施

去る1月31日（木）、第3回学校評議員会を開催しました。

学校評議員会は、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開するため、保護者や地域の方々の意見を幅広く校長が聞くためのものです。

本年度は、下記のように3回の会議を開催し、テーマに基づいて話し合いを行いました。毎回、貴重なご意見・ご助言をたくさんいただくことができ、会の目的を十分に達成することができました。5名の方々のご協力・ご支援に深く感謝いたします。

一年間、本当にありがとうございました。【敬称略】

大橋 光雄（赤麻・体協赤麻支部役員）

日高 智子（赤麻・民生委員）

毛塚 勝代（赤麻・元PTA会長）

山土家裕子（大前・民生委員）

深津 順吉（大前・元6区自治会長）

第1回 平成24年 6月27日（水）13：30～15：30

☆学校評議員制度についての共通理解 ☆授業参観 ☆学校経営全般

第2回 平成24年11月28日（水）10：30～13：00

☆持久走大会参観 ☆学校評価 ☆児童・家庭・地域の情報交換

第3回 平成25年 1月31日（木）10：00～12：00

☆外国語活動参観 ☆学校関係者評価 ☆次年度の学校経営

今回の学校評議員会では、教職員による学校評価結果及び保護者・児童アンケート結果をもとに、「**学校関係者評価**」（学校評議員・PTA会長・学校支援ボランティア代表）を行い、様々なご意見をいただきました。その中からいくつかをご紹介します。



1 自己評価結果に対する評価

- ・家庭では出来ない教育を先生方が一生懸命指導して頂いていることが分かりました。
- ・あいさつについては、全校体制で指導を行いそれなりの成果がでていますが、学校だけでなく保護者、地域の人たちの協力も必要だと思います。（就学時健診の時の子育て支援の活用等）
- ・いじめ問題は、学校の組織的取組が重要だと思います。先生方がしっかり児童に向き合って、事故を起こさないよう見守っていただきたいと思います。
- ・全般的に見ると昨年度より今年度は、評価点は低いですが、良いところもありますので意見等を参考にして教育指導をお願いします。
- ・達成されているという自己評価に敬意を表します。
- ・多項目にわたり、先生方が努力されている様子が伺えました。教職員一人一人が積極的に児童にかかわってくださっていることに感謝します。一筋縄ではいかないことは、お察しいたします。今後も、目標を掲げながらご尽力くださいますようお願いいたします。
- ・学校の改善の取組や頑張りが伺えます。教えと学力の差、子ども達のがまん強い心など難しい指導は、これで良いというものはないので、結果がすべてではないと思いますが、改善した取組をお願いします。

2 情報収集のためのアンケート結果に対する評価

- ・学校は楽しく勉強する所。「学校は楽しい」の評価が高かった事はとても喜ばしい事です。「考えや意見の発表」は大人でも難しい事だと思います。小学校のうちに発言能力をつけていただくと有り難いです。

- ・児童の「授業がわかりやすく楽しい」や「先生は困った時助けてくれる」の評価が昨年度に比べて低いようなのが気になります。もう一工夫楽しい授業をお願いします。
- ・保護者の評価では、「一人一人の児童に目を向けた教育」が昨年度に比べて低く受け止められているようです。保護者との対話により理解を深め合うことも大切だと思います。
- ・回収率が100%に近いので保護者の考え方などわかりやすいと思うので、今後も続けて欲しい。
- ・殆どの項目が昨年度より下がっています。一層のご尽力、学校・先生・家庭・保護者連携して推進する必要があると思います。
- ・児童アンケートで「学校からのおたよりや連絡帳は必ず家の人に見せている」について、まったくあてはまらないとの回答があったことが気になります。
- ・今後社会で「生きる力」を育てたいという願いは、学校・家庭に共通したものでした。また、健康でねばり強い子ども達の育成は不可欠であると思われまます。
- ・回収率がすばらしいです。毎年そんなに変わらないと思いますが、「授業はわかりやすく楽しい」「清掃を進んで行っている」の項目が昨年度に比べて4の評価が減っているのが残念。授業が楽しくないと学校の生活も楽しくなくなってしまいますのでご尽力をお願いします。

3 学校経営全般に対する評価

- ・先生方も何かと大変だと思いますが、今の保護者は、子ども自身が自ら考える力・行動できる力を特に希望していると思うので、発表して正解でも不正解でも認めてあげ、子どもを伸ばしてあげて欲しいと思います。
- ・昨年の評価と比較すると、先生、児童、保護者とも全体的に4の評価が低くなっているように思いますので、ご努力をお願いします。
- ・学校内の雰囲気は児童の明るさと学ぶことへの努力が感じられ、とても嬉しく思います。
- ・先生方も教育活動の問題や悩みについて、相談しあうよい人間関係ができているという項目が高い評価になっていますので、一層充実した学校を目指していただければと思います。
- ・教職員の方々が教育に対して熱心に頑張っていることがわかります。
- ・経営全般に対しては大旨良いと思います。
- ・児童のことを良く理解しようとしている姿勢が伺えました。
- ・学校経営の方針を確認しながら、具体的な取組を試行錯誤されていると思われまます。今後ますます、家庭・地域・教職員間の連携を図っていかれますことを願います。
- ・頑張っている様子が良くわかりますので、これからもよろしくをお願いします。

4 学校関係者評価を受けての学校の改善策

学校関係者から大変貴重なご意見をいただき、平成25年度の学校運営に向けての展望を持つ事ができました。校内においては以下の項目につき共通理解のもと全教職員で努力していきたいと思ひます。

(1) 自分の意見や考えを進んで発表できる児童の育成

- ・学校課題でも取り組んでいる「言語活動の充実」について、2年間の成果を踏まえ、全教科において進めていく。
- ・学業指導の充実に努め、一人一人を認め合い、温かな雰囲気の中で、意見や考えを発表できるように努める。
- ・一人一人が主体的に思考・判断する活動の充実に努める。

(2) 清掃指導の充実

- ・清掃の手順を明確にし、一人一人に役割をもたせ責任をもって取り組むことができるように支援する。
- ・振り返りの時間を確保し、頑張りをも認めていく。
- ・1年間同じ縦割り班での活動になるので、高学年の児童がリーダーとしての役割を果たせるような支援をする。

(3) 開かれた学校作りの推進

- ・アシストネット事業をさらに推進し、教育活動が充実するよう学校支援ボランティアとの連携を図る。
- ・地域の方々が学校を大切に思い、多くの場で支援してくださっていることを機会を捉え児童に伝えるとともに、児童に地域の方々に感謝し、地域を愛する気持ちを育む。
- ・今後も学校情報の積極的な発信に努め、学校・家庭・地域との更なる連携を進める。

(4) 学校組織の活性化

- ・職務を遂行するにあたり、それぞれの立場における報告・連絡・相談の徹底を図る。
- ・教職員が意欲的に働けるような職場環境作りに努める。
- ・全教職員で全児童を支援する学校経営を行う。

